

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-150262

(43)公開日 平成5年(1993)6月18日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 2 F 1/136

H 0 1 L 27/12

29/784

識別記号

5 0 0

庁内整理番号

9018-2K

A 8728-4M

9056-4M

F I

技術表示箇所

H 0 1 L 29/ 78

3 1 1 A

審査請求 未請求 請求項の数3(全 5 頁)

(21)出願番号

特願平3-314710

(22)出願日

平成3年(1991)11月28日

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

(72)発明者 中谷 紀夫

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋

電機株式会社内

(74)代理人 弁理士 西野 卓爾

(54)【発明の名称】 液晶表示装置

(57)【要約】

【目的】 ゲートラインと補助容量ラインが近接して形成されると、このラインの上を延在するドレインラインと寄生容量を生じ信号の遅延が生じる。また遮光膜の開口部は、対向基板上に形成されるためセルが小さくなると位置合わせ精度が必要になる。本願はこれらを向上するものである。

【構成】 ドレインライン(43)と補助容量電極(33)の交差部からドレインライン(43)とゲートライン(32)の交差部に渡り、a-Si、SiNxおよびN⁺a-Siを一体で形成し、この交差部間でドレインラインがゲート絶縁膜(35)と接触しない構造にしている。また補助容量電極(33)の内側側辺より遮光膜の開口部(44)を内側に設定し、対向基板の貼り合わせ精度を軽減した。

